

没後70年

# NAKAJIMA SAITOH 2025.8.5 TUE \_ 12.7 SUN

会 期

前編 8月5日[火]ー9月28日[日]  
後編 10月9日[木]ー12月7日[日]

開館時間

9:00ー17:00 ＊最終入館は30分前まで  
＊夜間開館は、8月9日[土]・8月10日[日]・8月30日[土]・8月31日[日]

休 館 日

【前編】8月18日[月]・25日[月]／9月1日[月]・2日[火]・8日[月]・16日[火]  
22日[月]【後編】10月14日[火]・20日[月]・27日[月]／11月4日[火]・10日[月]  
17日[月]・25日[火]／12月1日[月]

入 館 料

一般400円(団体320円) 学生・70歳以上200円 高校生以下無料  
＊未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料  
＊コレクション展のチケットでご入館いただけます

会 場

鳥取県立美術館 コレクションギャラリー5  
〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12  
TEL:0858-24-5442 <https://tottori-moa.jp/>



なかじま さいどう

日本画家・中島菜刀(1902-55)は現在の鳥取県・八頭町に生まれました。早くより画家を志し、周囲の援助もあって京都市立絵画専門学校(現 京都市立芸術大学)へ入学します。苦学の末に同校を卒業し、色彩豊かで抒情的な作品の数々を発表して院展での入選を重ね、1942年には故郷・鳥取の果樹園に取材した『薫風梨園』で第29回院展の絵画の部における最高賞を受賞しました。今後の更なる活躍が期待された矢先、戦局の悪化によって活動の場を奪われ、戦後も中央画壇への復帰を果たせぬまま、1955年7月19日に53歳で病没します。本展覧会は菜刀の没後70年を記念し、青年期を中心とする前編、晩年までの後編に分けてその画業をご紹介します。